

令和6年度入学生 こども学専攻 履修モデル

こども学専攻は、幼稚園教諭二種免許状と保育士資格の両方を取得することができます。広い視野を持った「子どものプロ」としての保育者を養成することを目指して、免許・資格取得に必要な科目はもとより、「こども学」を総合的かつ実践的にプロデュースする多様な科目も学ぶことができます。

1 2年間の学びのイメージ

2年後期	理論と実践の統合 社会に貢献できる保育者となる準備の時期です。講義と実践で得た学びを統合します。「保育内容総論」や「保育・教職実践演習(幼稚園)」などで総合的な保育観を培い、卒業研究をまとめます。
2年前期	実習を重ねて実践力を充実 実習が充実する時期です。実習先で保育者からの指導を受けると共に、学内では「こども栄養学」、「こどもと健康」などを学び、実践力を高めます。
1年後期	理論をもとに実践へ 最初の実習である、「幼稚園教育実習Ⅰ」を実施します。「幼稚園教育実習指導Ⅰ」で指導案の立案や記録の取り方など、実習に向けて具体的に学ぶと共に、「特別支援教育・保育」など、専門的な科目にも取り組みます。
1年前期	基礎を作る・子ども観を育む 「保育原理」や「保育の心理学」で基本理論を、「保育内容(表現)の指導法Ⅱ(リズムあそび)」や「こども学フィールドワークⅠ・Ⅱ・Ⅲ」で保育の実践的な方法を学び、子ども観を育み、保育者としての基本を身に付けます。

2 こども学専攻の学び

こども学専攻は、幼稚園、保育所、社会福祉施設などで活躍する「保育者」を目指す専攻です。卒業するのに必要な科目と、資格取得に関係する科目を履修していくと、卒業時には幼稚園教諭二種免許状・保育士資格が同時に取得できるカリキュラムが作られています。

免許・資格を取得するために必要な科目を中心に履修することになりますが、「こどもと絵本Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」等、本学こども学専攻独自の科目も配置されています。卒業後の進路に合わせて、どの科目に重点を置くかで自分らしい学びのスタイルを作ることができます。免許・資格を生かして保育者の道を歩む人、4年制大学・大学院へと進学する人など進路は様々ですが、「子どものプロ」の道を歩む基礎的な能力を養い、幅広い関心を満足させる科目が用意されています。また、少人数制のクラス編成と各教員のゼミ、そして先輩後輩同士の結びつきが強いことで、安心して学修できる環境にあります。

履修のイメージ

卒業要件
総合人間科目 14 単位 うち必修科目 9 単位 必修以外 5 単位 専門教育科目 48 単位 うち必修科目 28 単位 必修以外 20 単位 62 単位
【必修科目】 キリスト教概論 人間学 英会話Ⅰ 体育実技 【必履修科目】 キャリアガイダンス 保育キャリアデザイン アカデミックリテラシー
【必修科目】 こども学フィールドワークⅠ こども学フィールドワークⅡ こども学研究 こどもの保健 保育の心理学 こどもと健康 こどもと人間関係 特別支援教育・保育 社会福祉 子育て支援 保育原理 教育原理 保育内容（表現）の指導法Ⅱ リズムあそび 保育内容（表現）の指導法Ⅲ ピアノ表現Ⅰ 保育内容（表現）の指導法Ⅳ ピアノ表現Ⅱ こどもと表現（音楽） こどもと表現（造形） ビジネス文書演習 コンピュータ基礎演習 保育者論 【必履修科目】 こども学概説

→

幼稚園教諭二種免許状	
総合人間科目 14 単位 卒業要件科目 9 単位 資格要件科目 4 単位 資格要件科目以外 1 単位	専門教育科目 卒業要件科目 28 単位 資格要件科目 19 単位 62 単位
保育士	
総合人間科目 14 単位 卒業要件科目 9 単位 資格要件科目 2 単位 資格要件科目以外 3 単位	専門教育科目 卒業要件単位 28 単位 資格要件単位 35 単位 77 単位
幼稚園教諭二種免許状と保育士	
総合人間科目 14 単位 卒業要件科目 9 単位 資格要件科目 4 単位 資格要件科目以外 1 単位	専門教育科目 卒業要件科目 28 単位 (幼) 資格要件単位 19 単位 (保) 資格要件単位 27 単位 88 単位
認定絵本士	
総合人間科目 3 単位 こどもと絵本Ⅰ こどもと絵本Ⅱ こどもと絵本Ⅲ	
ピアヘルパー受験資格科目	
総合人間科目 3 単位 育てるカウンセリング概論 心理学	専門教育科目 社会的養護Ⅱ ※保育士必修科目

① 「こども学」を学ぶ

卒業必修科目や専攻必修科目は、「こども学」の基礎を学ぶ科目で免許・資格取得や卒業のために必ず履修しなければなりません。また、それぞれの関心に応じた多様な選択科目が準備されています。

こども学専攻の主な科目 (選択科目を含む)	(総合人間科目) キリスト教概論、人間学、こどもと絵本Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、保育キャリアデザイン、英会話Ⅰ・Ⅱ、体育実技等 (専門教育科目) こども学フィールドワークⅠ・Ⅱ・Ⅲ、こども学概説、こども学研究 こども栄養学、こどもの保健、「乳児の保育Ⅰ・Ⅱ」、こどもの健康と安全、こどもと健康、こどもと人間関係、幼児理解と教育相談、特別支援教育・保育、障がい児保育、社会福祉、こども家庭福祉、保育原理、保育者論、こども文学、保育内容(言葉)の指導法(絵本の読み聞かせ)、保育内容(表現)の指導法Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ(工作・リズムあそび・ピアノ表現Ⅰ・Ⅱ)、からだを動かす遊び、こどもと表現(造形)、ビジネス文書演習、コンピュータ基礎演習、保育とメディア等
--------------------------	---

<主な科目の特長、目標>

全国に先駆けて「こども学」という名称を使った本専攻の専門教育科目には、「こどもの探求」系列に「こども学」を冠にした科目があります。生涯にわたり子どもに寄り添い理解しようとする高い志をもつとともに「つかえる保育力」を身に付けるために、子どもと関わる多くの体験的・実践的・探求的科目があります。

・「こども学フィールドワークⅠ」(1年通年・必修)では、地域の子どもと保護者を対象に、学生主体で企画運営する「純心こども講座」を開講しています。

・「こども学フィールドワークⅡ」(1年通年・必修)の学外研修では、地域の保育施設に出向き子どもと触れ合い、観察実習(チャイルドウォッチング)を実施したり、地域の子どもと関わるボランティア活動をしたり、体験的な学びを行っています。

・「こども学フィールドワークⅢ」(1年通年・選択)では、地域の子育て支援施設等に出かけ、子どもを喜ばせる器楽演奏・歌唱・手あそび等のパフォーマンスを通して子供や保護者に触れ合います。

・「こども学概説」(1年後期・必修履修)では、地域の保育者を講師として招聘し、直接保育現場の様子を知る機会を設けます。その分野は幼稚園、保育園、障がい者施設、療育施設、児童・乳児養護施設等多岐にわたり、保育の視野を拓ける機会となります。また、2年次の「こども学研究」の研究対象(ゼミ)について各教員の話聞くことによって、「こども学」への興味・関心を深めます。

・「こども学研究」(2年通年・必修)では、各教員のゼミに分かれて少人数の卒業研究に取り組みます。その分野は児童文学・絵本・音楽・幼児教育・家庭教育・心理学・家庭福祉・母子保健・特別支援等々多岐にわたり、学生の主体的な関心に基づいて選択し、取り組みます。

② 卒業後の進路から実習の選択を考える

幼稚園教諭二種免許状では、「幼稚園の先生」になることはできても、「保育所の先生」になることはできません。反対に保育士資格だけでは「保育所の先生」になることはできても、「幼稚園の先生」になることはできません。平成27年以降増加している幼保連携型認定こども園の先生は「保育教諭」と呼ばれ、両方の免許・資格をもつことが求められます。したがって今日では、幼稚園教諭二種免許状と保育士資格の両方を持っていることが求められる場面が多くなってきました。こども学専攻では、二つの免許・資格を取ることを目指します。卒業後どこで働きたいかを考えて、実習を選択するのもよいかもしれません。

	幼稚園教諭	保育教諭	保育士（保育所）	保育士(社会福祉施設)
	幼稚園で働く	こども園で働く	保育所で働く	社会福祉施設で働く
	(幼) 二種免許状	(幼) 二種免許状 保育士資格	保育士資格	保育士資格
実習の選択	幼稚園教育実習指導Ⅰ 幼稚園教育実習Ⅰ 幼稚園教育実習指導Ⅱ 幼稚園教育実習Ⅱ	保育実習指導Ⅰ（保育所） 保育実習Ⅰ（保育所） 保育実習指導Ⅱ（保育所） 保育実習Ⅱ（保育所）	保育実習指導Ⅰ（施設） 保育実習Ⅰ（施設） 保育実習指導Ⅲ（施設） 保育実習Ⅲ（施設）	

*保育士資格を取得するには、保育実習Ⅰ（保育所）、保育実習Ⅰ（施設）、保育実習ⅡまたはⅢの3つの実習を修める必要があります。

③その他、こども学専攻で取得できる資格

(1) 認定絵本士（国立青少年教育振興機構・絵本専門士委員会認定）

「こどもと絵本Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」を学修することによって取得できます。

子どもの読書活動を推進する専門家を養成するための資格です。保育者のキャリアにとっても、絵本をとおして養われた感性は、読み聞かせや図書室の環境づくりなど汎用性があり、保育の仕事の幅を広げます。また、将来絵本専門士への道も開かれています。

(2) 社会福祉主事任用資格

「社会福祉」「こども家庭福祉」「保育原理」を学修することによって取得できます。

公務員として、また社会福祉施設で仕事をするために必要となる資格です。将来にわたり幅広く社会福祉の分野で仕事をする場合、有益な資格です。

(3) ピアヘルパー（日本教育カウンセラー協会認定）

日本教育カウンセラー協会が認定する2科目4単位、こども学専攻では、「育てるカウンセリング概論」、「心理学」、「社会的養護Ⅱ」を履修、単位修得することで、受験資格が得られます。12月に試験が実施され、合格すると合格証が交付されます。

「ピア」とは仲間の意味を持ちます。人間関係に関する理論や、スキルに関する知識と、初学的な技術を学ぶことができます。保育者に求められる、他者と関わる力や、他者と共に問題解決に取り組むための知識やスキルを修得できます。